

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	:	FUS500、KS-1500 シリーズ用ヒーター
会社名	:	株式会社東洋製作所
本社住所	:	〒277-0861 千葉県柏市高田 1335
担当部門	:	製造部 大阪工場 品質管理課
電話番号	:	072-967-1360
F A X	:	072-967-1370
推奨用途および使用上の制限	:	FUS500シリーズ、KS-1500シリーズ用ヒーター



2. 危険有害性の要約

GHS分類	:	
物理化学的危険性	:	なし
健康に対する有害性	:	なし
環境有害性	:	なし
GHSラベル要素	:	—

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	:	混合物
化学名または一般名	:	炭化ケイ素及びケイ素
成分および含有量	:	炭化ケイ素 97.5%以上
化学式又は構造式	:	炭化ケイ素 (SiC)
官報公示整理番号	:	炭化ケイ素 (1)-174
CAS番号	:	炭化ケイ素 409-21-2

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	:	皮膚を速やかに洗浄し、医師の手当、診断を受けること。
眼に入った場合	:	水で注意深く洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の手当、診断を受けること。
飲み込んだ場合	:	口をすすぐこと。気分が悪い場合は医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の措置

: 不燃性のため、火災時の措置は特にない。

6. 漏出時の措置

: 成型品のため、漏出しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

: 輸送、貯蔵、使用など取扱いには、振動、外圧の加わらないようにする。

当社製電気炉で、ヒーター材質を炭化ケイ素と指示しているものに取り付けて使用すること。

発熱体通電中は、火傷、感電の虞があるため、接触しないこと。

発熱体通電停止後も、発熱体表面温度が下がるまで火傷の虞があるため、接触しないこと。

保護眼鏡、保護手袋の着用が望ましい。

保管

: 振動、外圧の加わらないようにする。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

: 設定されていない。

防止対策

: 設定されていない。

保護具

: 必要に応じて適切な呼吸用保護具を使用すること。

必要に応じて適切な保護眼鏡を使用すること。

必要に応じて適切な保護用手袋を使用すること。

と。

必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。

衛生対策

取扱い後は良く手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

外観（物理状態、形状、色など）

物理的状态 : 螺旋状固体

溶解度	:	水、有機溶媒に不溶
色	:	暗緑黄色固体(無臭)。
かさ比重	:	約 2.3
曲げ強さ	:	49MPa

10. 安定性及び反応性

安定性	:	安定。
反応性	:	なし。

11. 有害性情報

製品の情報	:	製品そのものについて試験データは入手できないので、炭化ケイ素の情報を以下に記載。
急性毒性	:	データなし。
皮膚腐食性／刺激性	:	データなし。
吸入(蒸気)	:	データなし。
吸入(粉じん)	:	データなし。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	データなし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	いずれも情報がなく分類できない。
生殖細胞変異原性	:	データなし
発がん性	:	ヒト発がん性因子の疑い。ACGIHはA2に分類されていることに基づき、区分1Bとした。
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)	:	ラットにおいて区分1のガイダンス値範囲内の用量で、肺水腫、間質性肺炎、細気管支崩壊、肺胞の拡張不全が見られたとの記載に基づき、区分1(呼吸器系)とした。(炭化ケイ素)
特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)	:	ヒトでじん肺症、胸部X線画像の変化、肺繊維症、結節、珪肺症が見られたとの記載があることに基づき、区分1(肺)とした。

吸引力呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態影響についてはデータなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

危険物ではないが、輸送中に振動、外圧が加わらないようにすること。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 通知対象物質(炭化ケイ素*)
表示対象物質(炭化ケイ素*)

*労働安全衛生法の改正により、2016年6月1日以降、表示対象物となるが、「運送中及び貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない製品」は表示の適用除外となり、製品はこれに該当する。

消防法 : 適用なし

危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 適用なし

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法) : 適用なし

記載内容について

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データなどに基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常の手配を対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱いなどの実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

参考文献

- ・ 化学物質総合情報提供システム 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE)
 - ・ 国際化学物質安全性カード
 - ・ 厚生労働省 職場のあんぜんサイト
-